

2022年3月31日

内閣官房 行政改革推進本部事務局

## アジャイル型政策形成・評価の在り方に関する

### ワーキンググループ（第2回）における議論の概要を発表

昨日3月30日（水）、内閣官房 行政改革推進本部事務局は、行政改革推進会議（議長：内閣総理大臣）の下に設置された「アジャイル型政策形成・評価の在り方に関するワーキンググループ」の第2回会合を開催し、改善・提案型の政策形成に係るレビューを試行的に実施しました。

本日の第2回会合の議論の要旨は以下の通りです。

政策形成に係るレビューのねらいは、「行政の無謬性から脱却し、（政策プロセス自体も含め）政策の見直し・改善を柔軟に行うためにどうしたらいいか」を探ること。

政策形成に係るレビューにおける、政策形成・評価の改善の取組を実践している事例の検討に当たっては、

- 政策を見直し、改善することとなった端緒・きっかけから、どのように実際の見直しを行ったのか
- 政策を立案・実施する中で、端緒・きっかけを得て柔軟な見直しに繋げるよう、ど

のような工夫をしているのか

といった点を念頭に置きながら、アジャイル的要素として優れている点を議論。

#### 事例① 経済産業政策の新機軸（EBPM の強化等）

（優れている点）主なもの

- ・経済産業大臣が参加する審議会において、経済産業政策の新機軸として、これまでの EBPM の取組に加え、施策開始後、政策効果をモニタリングしてデータ等で検証できるようにし（究極的にはリアルタイムに）、その結果を基に機動的に修正していく、アジャイル型の政策形成アプローチを実施する旨、EBPM の強化等を行う経済産業省全体方針が提示され、賛同を得ている。
- ・政策当局の説明責任の担保として EBPM の分析結果を位置づけた上で、様々な試行錯誤が生じることを想定し、全ての事業について一律に取り組むのではなく、漸進的に大規模事業から「深掘」していくアプローチをとっている。具体的には、令和4年度から、事業開始後の検証に特に重点を置き、期待される政策効果・測定指標・データ取得方法を明確にするとともに、対象者ともデータ収集についてあらかじめ合意した上で、「検証シナリオ」を策定し、施策の実施前に公表する。事業開始後、取得された測定指標・集計データは原則開示し、問題があれば事業の見直しを行い、事業終了後は原則第三者が効果検証する。

## 事例② S I B（※）を活用した非行少年への学習支援事業

（優れている点）主なもの

- ・客観的なデータに基づき現状把握、課題を明確化している。再犯防止分野の S I B 活用に向けて事前に調査研究を行っている。
- ・目的から遡った政策手段（事業活動）を検討している。事業活動が成果に至るまでのつながり（因果関係）を整理（定量化困難な定性的なものも書き出しながら、つながりを丁寧に検討）している。
- ・事業実施後についても、事業者とコミュニケーションを図りながら進めており、機動的に柔軟な見直しを行っている。
- ・国において事業の成果を評価し、成果連動で委託費の支払いを行うため、予め、成果指標の目標値を設定し、効果検証を実施することとしている。

※ソーシャル・インパクト・ボンドの略称 民間事業者が資金提供者から資金を調達し、地方公共団体等から受けた支払に応じて返済等を行う事業

## 事例③ 意識変革及び行動変容につなげるナッジの横断的活用推進事業

（優れている点）主なもの

- ・政策の効果を検証（調査）するに当たり、予め、何を把握したいのか、どのような示唆を得たいのか、作業仮説を設定し、その検証を実施して PDCA を回していく

体制が構築されており、理論と実践を両輪とした政策形成の好循環（PDCA の A→P）が図られている。

- ・より機動的で柔軟に社会実装に進められるよう、実証実験に限定しない事業内容（ガイドラインの作成等）も含めて予算要求する等（事業者への発注の際も、柔軟な対応が可能となるよう仕様書を工夫する等）している。

次回以降も、本ワーキンググループでは、政策形成に係るレビューを試行的に実施いたします。

本日の会合の関連資料は以下の通りです。

<https://www.gyokaku.go.jp/singi/gskaigi/agile.html>

議事要旨については後日掲載予定です。

<出席者>

牧島かれん（行政改革担当大臣）

山田太郎（内閣府大臣政務官）

伊藤由希子（津田塾大学総合政策学部教授）

大橋弘（東京大学公共政策大学院院長、本ワーキンググループ座長）

亀井善太郎（PHP 総研主席研究員 立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科特任教

授)

川口大司（東京大学公共政策大学院教授）

鈴木周也（行方市長）

星野崇宏（慶應義塾大学経済学部教授理化学研究所 AIP センター経済経営情報融合分

析チームリーダー）

その他関係府省庁の担当官

参考資料

3/25 第48回行政改革推進会議資料

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/gskaigi/dai48/siryoku2.pdf>

2/14 第1回アジャイル型政策形成・評価の在り方に関するワーキンググループ資料

[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/gskaigi/agile\\_seisaku\\_wg/dai1/gijisidai.html](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/gskaigi/agile_seisaku_wg/dai1/gijisidai.html)

1/21 第47回行政改革推進会議資料

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/gskaigi/dai47/siryoku4.pdf>

12/9 第46回行政改革推進会議総理発言

[https://www.kantei.go.jp/jp/101\\_kishida/actions/202112/09gyokaku.html](https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202112/09gyokaku.html)